

1975], 美方郡扇の山[高橋, 1975].

11. *Dasytes vulgaris* Nakane, 1963 ケシジョウカイモドキ

中根博士によって“奥日光, 上高地, 屈雲峠(北海道)”を基産地に記載された種である(Frag. Coleop. Pars. 12:47, 1968). 本種も同博士によって原色で図説されている(1968).

県下の記録は次のものを知るのみである。

産地: 美方郡扇の山[高橋, 1975].

以上一応1種の県下産ジョウカイモドキを記録した。一般に余り注意されていないグループであり筆者の調査も不充分である。特に海浜性の種などの調査は必要であろう。更に詳しい調査をやらないといけないと考える。

(Sept. 1982)

宝塚市内におけるナガサキアゲハ春型の採集報告

新家勝

1980年夏頃から、阪神間でナガサキアゲハの採集された記事が、新聞誌上に度々、掲載されるようになったが、春型の採集例はなく、本種が年間を通じて阪神間で発生しているかどうかは疑問視されていた。ところで、1982年に筆者は、宝塚市内で本種の春型1♂を得たほか、同市内および近接地域で目撃したので、その状況を報告する。

(1) 1980年の春型採集および目撃記録

- ア 1980. 5. 9 伊丹市昆陽大池で昆陽池公園内のタニウツギに飛来した新鮮な1♂を目撃した。
- イ 1980. 5. 9 宝塚市逆瀬川1丁目で、飛翔中の新鮮な1♂を筆者の長男が目撃した。
- ウ 1980. 5. 10 宝塚市野上2丁目で、モチツツジに飛来した新鮮な1♂を筆者の長男が採集した。標本は筆者が保存している。

(2) 参考

1980. 5. 10前後に、幾つかの新聞紙上に掲載された記事から、参考までに阪神間におけるその他の採集例を紹介すると次の通りになる。

- ア 1982. 5. 8 尼崎市塚口町で1♀が採集された。(57. 5. 11朝日新聞朝刊および57. 5. 11読売新聞朝刊)
- イ 1982. 5. 9 西宮市段上町3丁目で1♂が採集された。(57. 5. 11朝日新聞朝刊)
- ウ 1982. 5. 12 西宮市田近野町で1♀が採集された。(57. 5. 11毎日新聞朝刊)

1980. 5. 10 前後に筆者と長男が目撃または採集した個体は、いずれも新鮮なもので、この時期に羽化したばかりのものと思われる。また、筆者等の目撲地および採集地と新聞記事における採集地とは比較的近接している。恐らく、1980. 5. 10 前後に、宝塚市南部、西宮市の旧市街地北部、伊丹市東部および尼崎市北部を含む地域のどこかで一斉に羽化した個体が、これらの地域内のあちらこちらで採集または目撃されたものと推定される。今後は、幼虫と蛹の発見に努めたい。

宝塚市清荒神のチョウ（追録 2）

加藤信一郎

1. ダイミョウセセリ *Daimio tethys Ménétriès* の関東型を採集

1982年5月6日午前、自宅の庭で、スオウの葉上に翅を開いて静止していた1♀を採集した。発生後間もない個体で、1972年に1♂を採集して以来、10年振りの記録である。

本種は、若狭湾東部と伊勢湾西部を結ぶ線より東の地域に産するものは、後翅表に白帯をもたず、小白斑がわずかに現われるか、全く無紋で関東型と呼ばれ、それより西の地域産は顯著な白帯をもち関西型と呼ばれる、その境界に接する福井・岐阜・愛知西部・滋賀・三重東部・京都東北部では中間型が見られる（川副・若林、1976、原色日本蝶類図鑑）。

採品は中室内に小白点を、第1,2室にかすかに認められる痕跡をそれぞれとどめる程度にまで白帯が消失し、明らかに関東型を示している。前翅長19mm。上述した境界線を超えて関東型が採集された記録として報告する。

2. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* von Sieboldその後の生息状況

本年5月に入って間もなく、参道脇疎林内の小道を蝶道として高飛するのを2度ほど目撃していたが、29日正午1♂を採集した。翅体の傷み具合から見て、発生後相当日数を経過しているようと思われる。前翅長58mmとやや小型である。

7月19日、妻が1♂を採集した。隣家の庭先におかれたミズ色のポリバケツの縁に翅を開いて静止していたもので、鳥にでもつかれたのか、不自然な傷み方をしているが新鮮な個体である。

前翅長71mm。これで春夏を通しての生息が確認されることになる。今後は雌の採集が望まれる。

3. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas japonica* Stichelの再記録

6月6日正午、自宅裏の小さいため池のさく沿いに飛んでいた新鮮な1♀を採集した。前翅長